

工事担当者が作成し、設計書に添付

リ サ イ ク ル 計 画 書（積算段階）

1. 事業（工事）概要

発 注 機 関 名	千葉市水道局水道事業事務所
工 事 名	舗装復旧工事（北谷津 7－1）
施 工 場 所	千葉市若葉区北谷津町地内外
工 事 概 要 等	舗装工【基層（再生粗粒度As20mm） t=50mm A=271m2、（開粒度As13mm） t=40・60mm A=596m2 表層（再生密粒度As13・20mm） t=50mm A=271m2、（開粒度As13mm） t=40mm A=3630m2
工 期（予 定）	令和7年10月～令和8年2月

2. 建設資材利用計画

建設資材	①利 用 量	②現場内利用量	③再生材利用量	④新材利用量	⑤再生資源利用率 (②+③) / ①×100	備 考
土 砂	0 地山m3	地山m3	地山m3	地山m3	%	
砕 石	0 トン	トン	0 トン	トン	#DIV/0! %	
アスファルト混合物	470 トン	トン	68 トン	トン	14.468 %	
生コンクリート	0 トン	トン	0 トン	トン	#DIV/0! %	

※ 最下段には、その他の再生資材を使用する場合に記入する。

3. 建設副産物搬出計画

指定副産物の種類	⑥ 発 生 量	⑦現場内利用量 (減量化量)	⑧他工事への搬 出量	⑨再資源化施設 への搬出量	⑩ストックヤードへの搬出量	⑪建設発生土受入 施設への搬出量	⑫現場内利用率 ⑦/⑥×100	⑬有効利用率 (⑦+⑧+⑨+⑩+⑪) / ⑥×100	備 考
建設発生土									
第1種 建設発生土	0 地山m3	0 地山m3	0 地山m3	地山m3	地山m3	地山m3	%	%	
第2種 建設発生土	0 地山m3	0 地山m3	0 地山m3	地山m3	地山m3	地山m3	%	%	
第3種 建設発生土	0 地山m3	0 地山m3	0 地山m3	地山m3	地山m3	地山m3	%	%	
第4種 建設発生土	0 地山m3	0 地山m3	0 地山m3	地山m3	地山m3	地山m3	%	%	
泥土（浚渫土）	0 地山m3	0 地山m3	0 地山m3	地山m3	地山m3	地山m3	%	%	
合 計	0 地山m3	0 地山m3	0 地山m3	地山m3	地山m3	0 地山m3	%	%	
コンクリート塊	0 トン	0 トン	0 トン	0 トン			%	#DIV/0! %	
アスファルト・コンクリート塊	442 トン	0 トン	0 トン	442 トン			%	100 %	
建設汚泥		トン							
	0 トン	トン	0 トン	0 トン			%	%	
建設発生木材		トン							
	0 トン	トン	0 トン	0 トン			%	%	

- ※ 建設発生土の区分（既存資料から判断するものとする）
- ①第1種建設発生土；砂、礫及びこれらに準ずるもの。

②第2種建設発生土；砂質土、礫質土及びこれらに準ずるもの。

③第3種建設発生土；通常の施工性が確保される粘性土及びこれらに準ずるもの。

④第4種建設発生土；粘性土及びこれらに準ずるもの。

⑤泥土（浚渫土）；浚渫土のうち概ねq c 2以下のもの。
- ※ 建設発生木材の中には、伐開除根材及び剪定材を含む。
- ※ 建設汚泥、建設発生木材の、「⑦現場内利用」の欄には、上段に現場内利用、下段に現場内での減量化量を記入する。
- ※ 「⑩ストックヤードへの搬出量」には、他工事に再利用されることが予定される場合のみ記入する。
- ※ 「他工事」には、他機関の公共工事や民間工事も含む。